

# 事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	03027-1	事業名	給付事業(在宅高齢者介護支援事業)	部名	健康福祉部
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開			室名	高齢障がい支援室
	基本施策	04:高齢者の多様な生活スタイルの支援			財 会計	一般会計
	施策の方向	01:地域包括ケアの推進			務 款	民生費
	戦略プロジェクト				科 項	社会福祉費
				目 目	老人福祉費	

② 目的・概要	対象	①最高齢者、88歳・99歳の高齢者 ②寝たきり及びひとり暮らしの高齢者等、高齢者等のみの世帯に属する者並びに徘徊が見られる認知症の状態にある高齢者等を介護する者
	目的	①敬老祝金等の支給 最高齢者、88歳・99歳の高齢者に敬老祝金及び祝品を支給することで、長寿を祝福する。 ②日常生活用具の給付 寝たきり及びひとり暮らしの高齢者等、高齢者等のみの世帯に属する者並びに徘徊が見られる認知症の状態にある高齢者等を介護する者に日常生活用具を給付することで、在宅での日常生活の便宜及びその介護者の介護の推進を図る。

			24年度	25年度	26年度
③ 指標	活動	① 名称 広報等周知回数	計画値		
		補足	実績値	1	2
			単位	回	回
	成果	② 名称	計画値		
		補足	実績値		
			単位		
①	名称 日常生活用具給付者数	計画値			
	補足	実績値	5	10	
		単位	人	人	

年度計画				年度実績			
④ 事業の計画・実績				①敬老祝金等の支給 981,959円 88歳 255人 5,000円相当の祝品 99歳 5人 10,000円相当の祝品 最高齢者 1人 10,000円の祝金と10,000円相当の祝品 ②日常生活用具の給付 86,400円 7人(火災警報器 3人、電磁調理器 3人、徘徊探索装置 1人)			
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	162
		国庫支出金		1,072	1,068	一般職員人件費 ②	162
		県支出金				所要人員 ③	0.02
		地方債				臨時職員人件費 ④	
		その他				受益者負担額 ⑤	
		一般財源		1,072	1,068	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額		0			
		前年度からの繰越額		0			
		総人件費		①	162		
	総コスト		⑥	1,230			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	①敬老祝金等の支給では、事業内容(金額等)の見直しを行った。また、最高齢の方と白寿を迎えた方には、市長が訪問し長寿を祝福することができた。 ②日常生活用具の給付については、高齢者が安心して生活できる環境づくりにつながった。	総合判定
			A
			順調に進んだ
	【反省点・課題】	①敬老祝金等の支給事業は、他市の支給状況等を調査しながら引き続き事業の内容を検討する必要がある。	
	【改善の方向性】	①敬老祝金等の支給事業では、事業内容の検討を継続して行う。	
事業目的の妥当性: 適切   有効性: 適切   最終評価確認者: 高齢障がい支援室 古田 秀樹			